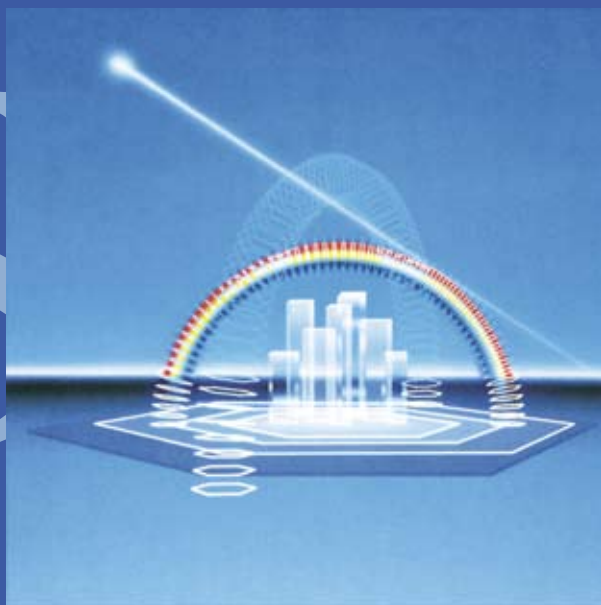


F★★★★★

JIS K 5660 つや有合成樹脂  
エマルジョンペイント

A S C A II



水性反応硬化形アクリル樹脂塗料

# アスカII

アスカが水性反応硬化樹脂でさらに大きく進化しました。

👉 光沢がさらにアップしました。

👉 臭いがさらにマイルドになりました。

👉 白さがさらにアップしました。

👉 コンクリート、モルタルなどの無機質系素材にも塗れるようになりました。

👉 乾燥性がさらにアップしました。

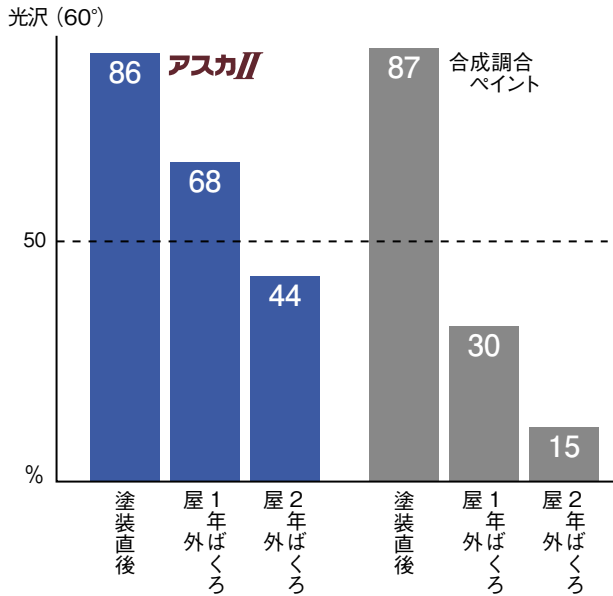


関西ペイント

# 高性能の秘密は水性反応硬化樹脂。

水が蒸発することにより反応硬化が始まり、強力な三次元構造の塗膜が完成する「水性反応硬化樹脂」。これにより水性塗料でありながら溶剤系塗料と同様の強じんな塗膜を形成します。

## 屋外でのツヤのもちがこんなに違います。



## 温度による乾き時間がこんなに違います。

塗料	項目	温度	表面が乾く時間	2回塗りができる時間	1日に2回塗れるか
アスカII		5°C	2時間	6時間以上	○
		23°C	30分	2時間以上	◎
		30°C	20分	2時間以上	◎
合成調合ペイント		5°C	6時間	48時間以上	×
		23°C	2時間	16時間以上	×
		30°C	2時間	16時間以上	×
合成樹脂エマルジョンペイント		5°C	2時間	6時間以上	○
		23°C	1時間	3時間以上	◎
		30°C	30分	2時間以上	◎

## 優れた高性能は、数々の試験結果が証明しています。従来の塗料と比べてみてください。

塗料	アスカII						エマルジョンペイント
	合成調合ペイント	フタル酸樹脂エナメル	塩化ビニル樹脂塗料	アクリル樹脂エナメル	ポリウレタンエナメル2液形	エマルジョンペイント	
亜鉛メッキ鋼板	Ⓣ	Ⓣ	Ⓣ	Ⓣ	Ⓣ	Ⓣ	—
アルミ合金	Ⓣ	Ⓣ	Ⓣ	Ⓣ	Ⓣ	Ⓣ	—
木材	○	○	○	○	○	○	○
硬質塩ビ面	○	—	—	○	—	○	—
古いカラートタン	○	○	○	—	○	○	—
鋼板	Ⓢ	Ⓢ	Ⓢ	Ⓢ	Ⓢ	Ⓢ	—
コンクリートなどアルカリ素材	シ	—	—	○	○	○	シ
旧塗膜※	合成調合ペイント	○	○	—	—	—	—
	ポリウレタンエナメル	○	—	—	—	○	—
	ルーフペイント	○	○	○	—	—	—

記号説明 ○:直接塗装できます。 ◎:上塗りと同系統のサビ止めが必要。  
 Ⓣ:専用の下塗りが必要。  
 —:一般的には使えません。 Ⓢ:シーラーが必要。  
 ※旧塗膜は、塗装前に目粗し処置を必ず行って下さい。

## アスカII白 [試験成績表] [JS K5660 つや有合成樹脂エマルジョンペイント]

試験項目	試験成績	品質規格
容器の中での状態	合格	かき混ぜたとき、堅い塊がなくて一様になること
低温安定性(−5°C)	合格	変質しないこと
塗装作業性	合格	2回塗り、はけ塗り塗装作業に支障のないこと
乾燥時間	標準状態	2時間以内
	(5°C)	4時間以内
塗膜の外観	合格	塗膜の外観が正常であること
隠ぺい率% [白及び淡彩]	合格	95以上
鏡面光沢度(60度)	合格	70以上
耐水性	合格	96時間浸したとき光沢保持率が80%以上で、塗面に異常がないこと
耐アルカリ性	合格	7日間浸したとき光沢保持率が65%以上で、塗面に異常がないこと
耐洗浄性	合格	1000回の洗浄に耐えること
耐湿潤冷熱繰返し性	合格	光沢保持率が80%以上で、湿潤冷熱繰返しに耐えること
促進耐候性	合格	480時間の試験で光沢保持率が60%以上、白亜化の等級は1以下で、色の変化の程度が見本品に比べて大きくないこと
屋外暴露耐候性	合格	12か月の試験で、白亜化の等級は2以下で、割れ、はがれ、膨れ及び穴がなく、色とつやの変化の程度が見本品に比べて大きくないこと

## 下塗り適性 (付着性)

種類区分	油性塗料	合成調合ペイント	フタル酸樹脂エナメル	塩化ビニル樹脂エナメル	アクリル樹脂エナメル	2液形ポリウレタンエナメル
下塗り適性	○	○	○	○	○	○

注) 下塗り適性とは、適合する下塗り塗料の種類(サビ止めおよび旧塗膜)の意味です。1年ばくろ結果による。

## 標準塗装仕様

### 1. 一般鉄部の仕様 [鉄骨・手すり・門扉など]

工程	塗料の配合と処置	塗装間隔 (23°C)	所要量 (kg/m <sup>2</sup> /回)
1. 素地調整	サンダーがけ・スクレーパー・ワイヤーブラシなどで、赤サビを完全に除去し、黒皮も除去、油分・じんあいなどは完全に清掃する		
2. 下塗り (1~2回)	アクアマックスEX 100 上水 0~5	各回、4時間以上 7日以内	0.14
3. 上塗り (2回)	アスカII 指定色 100 上水 5~10	各回、2時間以上 7日以内	0.13

注1) 下塗りには、その他のサビ止塗料（ザウルスEXIIなど）も使用できます。  
 2) 所要量は素地の形状・塗装方法によって、多少増減することがあります。

### 2. 木材・プラスチック類の仕様 [建築木部・塩ビ樋など]

工程	塗料の配合と処置	塗装間隔 (23°C)	所要量 (kg/m <sup>2</sup> /回)
1. 素地調整	シミ・ヨゴレなどを入念に除去したあと、サンドペーパーで素地を平滑にして清掃する		
2. 上塗り (2回)	アスカII 指定色 100 上水 5~10	各回、2時間以上 7日以内	0.13

注) 所要量は素地の形状・塗装方法によって、多少増減することがあります。  
 塩ビ樋などの塗装のときは、かならず脱脂してください。

### 3. コンクリート・モルタルなどの仕様 [外壁]

〈使用方法について〉～ハケ塗り・ローラー塗り・エアレススプレー塗りのいずれも可能です。  
 但し、エアレススプレー塗りの場合は上水希釈量は5~15%にしてください。

工程	塗料の配合と処置	塗装間隔 (23°C)	所要量 (kg/m <sup>2</sup> /回)
1. 素地調整	エフロ・レタンス・ゴミ・汚れなどはワイヤーブラシ・サンドペーパー・ウエスを使用して除去し、乾燥した清浄な面とする (pH10以下、含水率8%以下とする)		
2. 下塗り	EPシーラー透明 100 上水 50~100	各回、2時間以上 7日以内	0.07 ~ 0.10
3. 上塗り (2回)	アスカII 指定色 100 上水 5~10	各回、2時間以上 7日以内	0.13 ~ 0.18

注) 所要量は素地の形状・塗装方法によって、多少増減することがあります。

## 施工上のポイント

1. 冬期及び、高湿度時には、乾燥が遅くなりますのでご注意ください。
2. 5℃以下での塗装は避けてください。
3. 使用後のハケや用具、手などについた塗料はできるだけ早く水で洗い落としてください。落ちにくい時はラッカー系シンナーで洗ってください。
4. 塗る前にホコリなどがあると、アスカⅡのくっつきが悪くなります。手でこすって、ホコリのないことをたしかめてください。
5. 夜間などに気温が低下し結露のため、塗面にシミがついたり塗膜をタレさせることがありますので、冬期や雨天の塗装には特に注意してください。
6. アスカⅡは乾きが早いので、ムラを切らず手早く塗ってください。
7. コンクリート・モルタル・スレートなどのアルカリ分を含む建材に塗装する場合は、EPシーラーを必ず下塗りしてください。
8. 塗膜と合成皮革、塩ビシートなどの塩化ビニール製品との接触はさけてください。可塑剤のブリードによる粘着がおこる場合があります。
9. 濃彩色仕上げの際、雑巾・ウエス等で強くこすると、色落ちや艶変化が起こる場合があります。

## 品名・容量

### ■アスカⅡ 指定色(各色)・・・15kg

※アスカⅡは、危険物ではありません。

#### 【関連製品】

### ■アクアマックスEX・・・16kg

### ■EPシーラー透明・・・15kg

## ご使用上の注意事項

下記の注意事項を守ってください。  
 詳細な内容については安全データシート(SDS)をご参照ください。

#### ●予防策

取り扱い作業中・乾燥中ともに換気の良い場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具(帽子・保護めがね・マスク・手袋等)を着用し、身体に付着しないようにすること。

吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。

皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・えり巻きタオル・長袖の作業着・前掛を着用すること。

本来の目的以外に使用しないこと。

指定材料以外のものとは混合(多液品の混合・希釈等)しないこと。

缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。

取り扱い後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。

使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。

本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。

#### ●対応

目に入った場合：直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。

皮膚に付着した場合：直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、医師の診察を受けること。

吸入した場合：空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。

飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。

漏出時や飛散した場合は、砂、布類(ウエス)等で吸い取り、拭き取ること。

火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。

#### ●保管

指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。

直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。

子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。

#### ●廃棄

本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。(排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。)

#### ●施工後の安全

本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施主様に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでベンキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。

## 関西ペイント販売株式会社

関西ペイントホームページ  
[www.kansai.co.jp](http://www.kansai.co.jp)

本社 TEL(03)5711-8904 FAX(03)5711-8934  
 北海道 TEL(0133)64-2424 FAX(0133)64-5757  
 東北 TEL(022)287-2721 FAX(022)288-7073  
 関東 TEL(028)637-8200 FAX(028)637-8223  
 東京 TEL(03)5711-8905 FAX(03)5711-8935  
 中部 TEL(052)262-0921 FAX(052)262-0981  
 大阪 TEL(06)6203-5701 FAX(06)6203-5603  
 中国 TEL(082)262-7101 FAX(082)264-3285  
 四国 TEL(0877)24-5484 FAX(0877)24-4950  
 九州 TEL(092)411-9901 FAX(092)441-3339

ご用命は